

America Counts

ギグワーカーの一員になりたい方は、ぜひ国勢調査の業務にご応募ください

2020 年国勢調査の実施に向け、パートタイムまたは臨時職員として働ける人を 50 万人超募集中

America Counts スタッフ – 2019 年 8 月 5 日

ライドシェアサービスの運転手から手工芸品のオンライン販売まで、アメリカ合衆国では、新しいクリエイティブな方法で臨時収入を得る人が増えています。

インターネットを利用した副業は「ギグワーク」と呼ばれ、テクノロジーの普及や、企業がパートタイムあるいは契約労働者を増やす傾向により、急速に増えています。

そして来年には、アメリカ合衆国国勢調査局が全米最大のギグワーカー雇い主となるでしょう。

2020 年国勢調査の実施を来年に控え、国勢調査局は 50 万を超す臨時またはパートタイムの仕事の求人募集をします。

戸別訪問を行う調査員や、住所の確認をするオフィスワークなど、既に多くの職種で募集が始まっています。お住まいの地域に応じて、時給 13 ドルから 30 ドルまでが支給されます。

テクノロジーを利用した国勢調査

国勢調査員の業務は、2020 年国勢調査からテクノロジーを多用するようになります。

かつては調査員が調査票やマニュアル、地図など様々な書類の入った大きなかばんを抱えて戸別訪問していました。けれども今回から、調査員はスマートフォンやノートパソコンを使って住所の更新や国勢調査への回答をお手伝いします。



国勢調査局が開発したマッピングソフトウェアを利用すると、訪問するのに最適な時間帯や訪問ルートを割り出すこともできます。

「これまでは全て紙ベースでした」と言うのは、国勢調査局のコミュニケーション部門の副部長を務めるバートン・リースト氏。「以前は書類が入った箱をいくつも抱えていましたが、今では、必要な情報はスマートフォンがあれば全てアクセスできるようになりました」

副業またはギグワークとして最適

2020 年国勢調査業務の求人では初めてオンラインで応募できるようになりました。

「これらの仕事は、副業に最適です。特に、学生、バス運転手、教師などの人たちにお勧めしています」と、国勢調査局ニューヨーク地域事務局の地域長ジェフ・ベラー氏は言います。「本業の傍ら、週末に働くだけでも良いのです」

ベラー氏は、空いている時間を活用してもらおうと、タクシー運転手やライドシェアの運転手も勧誘の対象にしています。

「私たちは常に採用活動をしています」

国勢調査業務の募集日程

2020 年国勢調査では、国勢調査日に制定されている 2020 年 4 月 1 日時点でアメリカ合衆国に居住している人数を数えます。質問の内容は、同一の住居に居住する人の年齢や人数など、単純なものです。人数を数えるだけでなく、国勢調査日にどこに居住しているかも把握します。

国勢調査局は 8 月から、全米の地図と住所リストを更新するため、全米規模の住所点検作業に入る予定です。



約 5 万の短期アルバイト職員が、6 週間かけて 5,000 万を超す国内全世帯の住所を確認し、新たに追加された住まい（または住所）がないかを調べます。国勢調査局は、アメリカ国内の全世帯が 2020 年 3 月に確実に国勢調査の案内を受け取れるように準備を整えています。

2020 年はじめには、戸別訪問を担当する調査員の募集が開始されます。主な業務は、オンライン、電話または紙の調査票での回答が済んでいない住民に回答の記入をお願いすることです。

このような戸別訪問は通常、夕刻または週末に行われます。日中に業務を行う職種も、各地域の事務所で募集されます。

これまで、応募手続きは全て書面で行われ、対面によるテストが実施されていましたが、今回からオンラインでの応募が可能です。審査を通過した応募者は、指紋登録および身元調査を経て業務を開始します。

第二言語を話す方は、ぜひご応募ください

アメリカでは現在、失業率の低い地域がほとんどですが、それでもすべての採用枠が埋まるでしょう、と国勢調査局のフィールドオペレーション部門の副部長ティモシー・オルソン氏は見込んでいます。

国勢調査局では、英語以外の言語を話す人や、移民人口の高い地域に住んでいる人を募集しています。「調査員が調査をする地域の隣人のようで親しみやすいと感じてもらうためです」とベラー氏は言います。

ベラー氏によると、調査員たちは業務を楽しんでおり、よりよい地域づくりに貢献できることをうれしく感じるようです。

「不思議なことに、一度この業務に携わると、何十年経っても、またやりたくなるようです。同じ顔ぶれをよく見ますね」とベラー氏は言います。「得難い経験ができます」